

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成23年7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府亀岡市大井町並河3-24-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 代表取締役 磯田 典理

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001：2004
適用範囲	日本写真印刷㈱および国内関係会社（ナイテック工業㈱亀岡工場他12箇所）
導入年月日	2003年12月19日
認証番号	UKAS 1552401
基本方針	Nisshaグループは国内で行う生産・開発・販売・管理の活動及び製品・サービスにおいて、地球環境保護が経営活動の最重要課題と認識し、環境に配慮した取り組みを行い地球環境保全に努める。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ol style="list-style-type: none"> 【廃棄物発生抑制】 亀岡工場全体の廃棄物再生・再資源化率を99.80%以上。廃棄物指数：2009年度下期比5%低減 【地球温暖化防止】 CO2排出指数2009年度下期比10%低減 エネルギー（電力・ガス）使用指数2009年度下期比10%低減 【有機溶剤の使用率低減】 PRTR対象物質（トルエン・キシレン等）の使用率を2009年度下期比2%以上低減。 PRTR対象以外の有機溶剤の使用率を2009年度下期比2%以上低減。 【業務の中での環境保全活動】 作業効率改善・環境負荷低減の推進。
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 廃棄物ゼロエミッション（再生・再資源化率99.8%以上） 生産部門は不適合品率の低減により廃棄物の発生抑制。 工場全体のCO2排出率（原単位）及び電気・ガス使用率（原単位）を2010年度実績の2%以上低減。 運転効率の向上。製品ロス削減。出荷検査不合格率低減。等 印刷1件あたりのインキ・溶剤の使用量の低減。 印刷工程における不良改善によるインキ・溶剤使用量の低減。 生産作業方法の改善による良品率・作業効率向上の取り組み。
目標を達成するための取組の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 良品率アップの取組により廃棄物の削減を継続中。又、廃棄物のリサイクル化・有価物化への取組を継続実施。 設備・機械等の日常点検及び測定等の徹底。燃料燃焼等に関しては一部設備に関して空気比等の調整を実施。動力機等の運転効率率アップへの取組実施。 空調等室内温度の適正化。照明の大幅間引等は実施済。 良品率アップによるインキ・溶剤の使用量の低減を継続取組。 各生産部門における作業方法の改善等による良品率・作業効率向上への取組実施中。工場全体での6S活動の推進による環境保全活動を継続実施。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	目標値としての原単位は、昨今の大きな業績変動に影響を受けているが、取り組み内容に関しては概ね計画通り実施できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規制等の改正に関しては親会社より毎月送られてくる「環境関連法規制情報レポート」と行政のホームページ等で毎月確認し変更の有無を記録している。 又、環境法規制等の遵守状況は、環境関連「法遵守点検チェックリスト」により3ヶ月に1度チェックを行っている。平成22年度も違反及び行政からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては環境マネジメントレビューを年2回実施している。 平成22年度も半年毎の継続的見直しを行い、法律の改正・組織の改編等に対する対応や運用上必要に応じてマネジメントシステムの一部変更等を行ってきた。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。